

科目名	生理学 3							年度	2026
英語科目名	Physiology 3							学期	前期
学科・学年	鍼灸科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	岡安維蓉	教員の実務経験		有	実務経験の職種		医学博士 鍼灸師		

【科目の目的】
鍼灸臨床を行う上で、人体の生命現象の機序・特徴及び基礎となる必要な知識である身体機能を学びます。

【科目の概要】
生理学を学ぶ意義を理解する。人体の生命活動を細胞レベルから理解する。細胞の構造・代謝・機能に関わる基本を理解することから始まり、細胞にとって最適な生体内環境の恒常性について理解する。続いて排泄・内分泌系・生殖/成長/老化に関する生体内での機能を理解する。

【到達目標】
鍼灸の学習を進める上で必要な機能に関する知識を習得する。医療の基本となる医学用語を理解すると同時にしっかりと記憶できるように身につけることが必要となる。その上で人体の生命活動のシステムを学び、人体に対しての理解を深める。細胞レベルから生体の内部環境の恒常性を維持するための様々な特性を理解する

【授業の注意点】
授業日数の3/4以上出席しない者は定期試験を受験することはできない。講義時間に無連絡で20分以上遅刻された場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。

評価基準＝ルーブリック					
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A 神経系の総論	すべて理解できる。身につけている。	理解できる。身につけている。	理解できるが、部分的に身につけている。	医学用語のみ理解できる	学習意欲欠け、学習内容を理解できない。
到達目標 B 中枢/末梢神経系	すべて理解できる。身につけている。	理解できる。身につけている。	理解できるが、部分的に身につけている。	医学用語のみ理解できる	学習意欲欠け、学習内容を理解できない。
到達目標 C 自律神経系	すべて理解できる。身につけている。	理解できる。身につけている。	理解できるが、部分的に身につけている。	医学用語のみ理解できる	学習意欲欠け、学習内容を理解できない。
到達目標 D 筋	すべて理解できる。身につけている。	理解できる。身につけている。	理解できるが、部分的に身につけている。	医学用語のみ理解できる	学習意欲欠け、学習内容を理解できない。
到達目標 E					

【教科書】
東洋療法学校協定指定教科書

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】
期末テスト：80%
復習小テスト：10%
出欠席状況：10%

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		生理学3			年度	2026
英語表記		Physiology 3			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	排泄	尿生成について学ぶ	1 腎臓	腎単位 (ネフロン)	3	
			2 腎臓	糸球体濾過の仕組み・GFRに影響を及ぼす因子		
			3 尿細管	近位・ヘンレループ・遠位・集合管の構造		
2	排泄	尿生成について学ぶ	1 尿細管	再吸収のメカニズム・分泌	3	
			2 腎機能測定	クリアランスとは・様々な物質のクリアランス		
			3 尿の成分	尿の性質・量・尿量の異常		
3	排泄	腎臓と体液の調節	1 体液の調節	体液のpH調節の仕組み	3	
			2 体液の調節	体液量の調節の仕組み		
			3 体液の調節	浸透圧の調節の仕組み		
4	排泄	蓄尿と排尿	1 蓄尿・排尿	尿管・膀胱・尿道の構造・働き	3	
			2 蓄尿・排尿	蓄尿/排尿中枢・遠心路神経支配・仕組み		
			3 蓄尿・排尿	排尿障害		
5	内分泌系	ホルモン総論	1 復習テスト	排泄小テスト	3	
			2 ホルモンの特徴	標的細胞を持つ微量で有効		
			3 ホルモンの化学的性質	ペプチド/ステロイド/アミン類ホルモンに分類		
6	内分泌系	ホルモン総論	1 ホルモンの作用機序	細胞膜/細胞内受容器	3	
			2 ホルモンの分泌調節	階層的支配・フィードバック機構		
			3 ホルモンの分泌調節	血中成分による調節・ホルモン分泌の生体リズム		
7	内分泌系	各論	1 視床下部ホルモン	放出ホルモン・抑制ホルモン	3	
			2 下垂体ホルモン	前葉ホルモン5種類6つの働き・分泌異常		
			3 下垂体ホルモン	後葉ホルモン2種類の働き・分泌異常		
8	内分泌系	各論	1 甲状腺ホルモン	甲状腺の構造	3	
			2 甲状腺ホルモン	T ₃ 、T ₄ 生理作用・分泌異常・		
			3 甲状腺ホルモン	カルシトニンの生理作用		
9	内分泌系	各論	1 副甲状腺ホルモン	体内カルシウムの代謝	3	
			2 副甲状腺ホルモン	パラソルモンの生理作用		
			3 血漿カルシウム濃度調節	血漿カルシウム濃度を調節するホルモン・分泌異常		
10	内分泌系	各論	1 膵臓ホルモン	膵臓の構造・内/外分泌の区別・生理作用・分泌異常	3	
			2 膵臓ホルモン	血糖を上昇させるホルモン・糖尿病		
			3 副腎ホルモン	副腎の構造		
11	内分泌系	各論	1 副腎髄質ホルモン	カテコールアミンの生理作用・分泌調節・分泌異常	3	
			2 副腎皮質ホルモン	糖質コルチコイド 電解質コルチコイド 副腎アンドロジェン		
			3 副腎皮質ホルモン	上記ホルモンの生理作用・分泌調節・分泌異常		
12	内分泌系	各論	1 精巣のホルモン	ホルモンの生理作用・分泌調節	3	
			2 卵巣のホルモン	ホルモンの生理作用・分泌調節		
			3 その他のホルモン	消化管/腎臓/松果体/心房のホルモン		
13	生殖・成長・老化	生殖	1 男性生殖器	精子形成・性反射	3	
			2 女性生殖器	卵子形成・性周期		
			3 妊娠・出産	受精・妊娠・分娩・乳汁分泌		
14	生殖・成長・老化	成長・老化	1 復習テスト	内分泌系小テスト	3	
			2 成長	発達段階の区分・各器官の成長		
			3 老化	生理的老化の特徴・身体機能の加齢変化		
15	前期期末	期末テスト返答	1 前期末テスト解説		3	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等